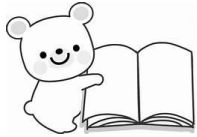


ほんじつ ほん ～本日のおすすめの本③～



『ぼうしねこは ほんとなねこ』

あまんきみこ^{さく}作

ポプラ社出版(1997年初版)^{ねんしよほん}

4年生の国語の教科書ねんせい こくご きょうかしょにのっている「白いぼうししろ」は、あまんきみこさんの

有名な作品ゆうめい さくひんです。これは、「車のいろは空のいろくるま そら」のシリーズひとの一つです。

ある日、タクシー運転手の松井まついさんは黒いぼうしの猫ねことおんなのこをタクシーに乗のせます。二人をおろした所ところは、ひなの里さとでした。

そこは、三月三日にかざられなかったひな人形ひなぎょうがいる里さとでした。箱はこのなかに入れられたまま出されなかったひな人形ひなぎょうのことを心こころからおもっている人ひとだけがいける場所ばしょでした。

おんなのこのおかあさんは入院にゅういんをしていて、この年としはひな人形ひなぎょうをだすことができなかったようです。さてさて……

松井まついさんは、どんな人ひとだとおもいますか？そんなことを考えながらよんでみると、松井まついさんのことが大好きだいすきになります。そして、作者さくしやのあまんきみこさんの、やさしさも、物語ものがたりのいろいろなところから感じかんられるはすです。ぜひ、楽しんでください。

2年生ねんせいぐらいから自分じぶんでよむことができます。チャレンジしてみてください。

